

生徒指導だより

令和5年度 七塚小学校
校長 稲垣 優子
担当 西田 美紀
6月号

あいさつでいっぱいの七塚小学校にしよう！



七塚小学校では、毎月の生活目標と合わせて年間の重点目標として「あいさつ」に取り組んでいます。「あいさつでいっぱいの七塚小学校にしよう」をめあてに、4月から児童会の企画委員を中心に朝の登校時間に合わせ、玄関であいさつ運動を行っています。4月のうちは、企画委員があいさつをしても返ってこなかったり、小さい声でしかあいさつができなかったりと、自分から進んでできる子が少ないと感じていましたが、5月のあいさつ運動では、たくさん子どもたちが楽しんであいさつ運動に参加していました。企画委員だけでなく、低学年や中学年の子たちも率先してあいさつ運動に取り組んでいる姿を見て、大変頼もしくも感じました。

元気よくあいさつをすることで、友達とのコミュニケーションはもとより、自分も相手も一日の始まりを実感し、「今日も一日がんばろう！」と前向きな気持ちになるのではないかと考えています。ご家庭でも元気なあいさつを心がけ、お子様と一緒にさわやかな一日をスタートさせてください。

クラスでそれぞれの学年やレベルに応じたあいさつの取り組みの目標設定を行い、企画委員が「あいさつ上手！」と認定した子の名前を、お昼の放送で紹介したり、カードに書いて多目的ホールの壁に掲示したりしています。

七小っ子全員があいさつパワーアップできるように楽しく取り組めるといいですね。

**七塚っ子のあいさつ
パワーアップへの道**

めざそう！ 自今のあいさつレベルアップ！！

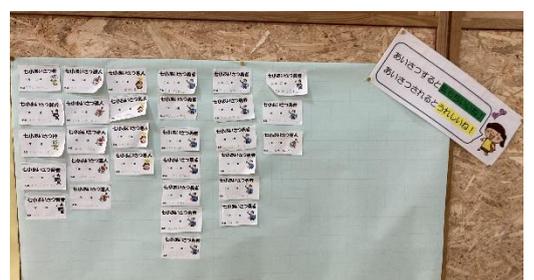
レベル1 大きく あかるく
「名人」 はきはきと

レベル2 相手のかおをみて
「達人」

レベル3 相手よりさきに
「賢者」

レベル4 えがおで
「勇者」 おじぎをつけて

レベル5 いつでも どこでも
「神」 だれにでも





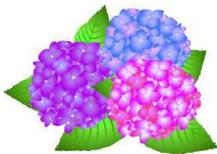
の生活目標「ろうか・階段を正しく歩こう」

道路を歩くとき、公共施設を利用するとき、私たちが安全に過ごすために、社会にはそれぞれルールがあります。そうした安全のルールを守ることができるように、6月は「ろうか・階段を正しく歩こう」という目標に取り組み、校内で、ひいては道路でも安全に気をつけ行動する力を身につけています。

例えば、「ろうかは右側を歩きましょう」。このルールを子どもたちは、何度も耳にしています。しかしながら、なかなか行動に移せない子がいます。その理由としていくつかのことが考えられます。

例えば、「なぜ？」が理解できていないときです。道路でも、人は右側を歩くというルールがあります。それは、正面からやってきた車や人との事故を避けるためです。みんなで同じルールを守ることによって、安全が守られています。これは、校内でも同じです。そうしたルールの大切さを感じられないとき、人はまわりを破ってしまいます。ですから、ルールの意図を理解する力を身につけていくことが必要なのです。また、「急いでいる」という理由でろうかを走るときもそうです。救急車やパトカーですら、信号を守らないのは命に危険があるときだけです。「早く遊びに行きたい。」「もうすぐ授業が始まる。」などの理由は、時間にゆとりをもって行動する力があれば、十分に行動に移せるはずなのです。

「ろうか・階段を正しく歩く」ためには、様々な力が必要です。そんな力を意識し、身につけてもらうためにも、みんなで一緒に安全に気をつけ、行動できるようにしていきたいですね。



気候に合わせた過ごしかたを



蒸し蒸しと暑い日が増えてきました。校内でも少しずつエアコンが稼働し始め、夏が近づいてきたと感じています。本校では天候や気温・体調に合わせて、自分で判断して服装を調節する力を身に付けさせたいと考え、「衣替えの日」を指定していません。しかしながら、一部のお子様は暑くなってきても冬服や長袖で登下校したり、体操服の長袖・長ズボンを着て活動したりしています。

とはいえ、小学生の段階では、無理をしてしまう子も見られます。そのため大人が子どもたちの様子を見て、声をかけていく必要があります。学校でもしっかりと指導していきますが、ぜひ、ご家庭でもお話ししていただければと思います。

よろしく願います



いじめアンケートについて

先日行ったいじめアンケートのご協力ありがとうございました。アンケートを生かして、学校では担任と一人一人が向き合う時間を設定しています。授業や休み時間などの様子はもちろんのこと、日ごろ考えていることや感じていることを子どもたちと話しできたらと考えています。「いじめは絶対ダメ！」という認識を学校でも家庭でも共有し、子どもたちの安心・安全を守っていけるようにしていきます。